

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

富加町教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

本調査の結果は、児童生徒の学力の特定の一部を示すものであって、児童生徒の学力の全体を判断するものではありません。

(2) 調査の対象学校・対象学年 富加町内の公立小学校（第6学年）

(3) 調査内容

教科に関する調査【国語、算数・数学、理科】

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

(4) 調査日 平成30年4月17日（火）

2 教科に関する調査結果の分析

小学校

良い結果であったこと

【国語】

- ・相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。
- ・自分が想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。
- ・日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う。
- ・計画的に話し合うために、司会の役割について捉える。

【算数】

- ・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。
- ・ 180° の角の大きさを理解している。

【理科】

- ・より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。

課題と考えられること

【国語】

- ・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。
- ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

【算数】

- ・小数の除法の意味について理解している。
- ・円周率の意味について理解している。
- ・図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさが 360° になっていることを記述できる。
- ・メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる。
- ・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる。
- ・折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる。

【理科】

- ・より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。
- ・電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。
- ・物を水に溶かしても全部の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。

3 生活習慣や学習環境に関する調査結果の分析

良い結果であったこと

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・学校のきまりを守っている
- ・家で学校の宿題をしている
- ・いじめは、どんなことがあってもいけないことだ

課題と考えられること

- ・放課後や週末の、テレビ・ビデオ・DVD・ゲーム・インターネット等の利用
- ・一日当たりの家庭学習時間
- ・一日当たりの読書時間
- ・新聞を読む

4 今後の取組

- ・「これまでの学習内容が身に付いているか」「本時の授業が適切に進められているか」「本時の学習内容が身に付いたか」を、確実に見届けます。
- ・話したり書いたりして自分の考えを伝える表現力と、相手の考えの意図を聞き取る読解力を養うために、授業の中に、児童同士が自分の考えとその根拠を伝え合う活動を取り入れます。
- ・児童が意欲的に授業に取り組みめるように、課題づくりや学習形態を工夫します。
- ・家庭学習の手引き等を活用し、児童に家庭学習の意義や取り組み方について指導すると共に、懇談会や家庭教育学級等の場を通して、保護者にも啓発をします。
- ・読書に親しむ子を育てるために、図書館利用や、読書に関するイベント等を積極的に推進します。